

ぼらんていあネットワーク

(士別市社協 朝日支部だより No.85)



このマークは、社会福祉及び社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るく幸せな社会を建設する姿」を表現しています。

発行日 平成29年7月13日(木)
発行 士別市社会福祉協議会 朝日支部
事務局 士別市社会福祉協議会 朝日支所
住所 士別市朝日町中央4029番地
電話 28-2002 FAX 28-3322



いのちと健康をまもる

赤十字の活動資金にご協力を!

平成29年度赤十字社員及び社費の募集について

今年も各自治会のご理解とご協力により、7月上旬～8月下旬まで社費の取りまとめをお願いしております。赤十字は人道と博愛の精神を基調とし、明るく住みよい平和な社会を築くために活動しております。

地震、豪雨等の自然災害が起きた場合の負傷者医療救護をはじめ国際赤十字の要請に基づく救護等、数々の事業を行っておりますがこれらの活動費は全て赤十字社員の社費及び寄付金等で賄われており、社員の増強により社費の安定的な確保が極めて重要です。

昨年朝日地区においては644人の皆様からのあたたかい善意により267,400円が寄せられました。今年度も例年通り自治会を通じて、社費の募集をいたしております。皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

(※イラストは、日赤のマスコットキャラクター救護犬で名前は「アイリー」です。)



御霊のご冥福を祈念し献花

平成29年度「朝日町招魂祭」が挙行されました



去る6月15日(木)忠魂碑境内において、平成29年度「朝日町招魂祭」が厳粛の内にもしめやかに挙行されました。

本年度は、遺族(17名)、来賓(15名)、総合支所並びに社協役職員(12名)の出席のもと、全員で戦没者の御霊に黙とうを捧げました。

粥川祭典委員長の「式辞」、牧野市長の「御霊の詞」、北海道連合遺族会長様からの「追悼の辞」を井出朝日町遺族会長が代読の後、御霊のご冥福をお祈りし出席者全員が献花を捧げました。式典終了後粥川祭典委員長並びに井出遺族会会長からのお礼の挨拶があり滞りなく終了しました。ご協力いただきました総合所なら後に社協朝日支部役員の皆様ご苦労様でした。ありがとうございました。

7・8月の主な行事

月 日	曜日	行 事 名	時 間	場 所
7月19日	水	ふれあい昼食会	10:30~12:30	サンライズホール
8月24日	木	朝日神社例大祭(24日~26日)		
8月31日	木	ふれあい昼食会	10:30~12:30	サンライズホール

ふれあい広場2017inしべつ Part34

「助け合い みんなで作る 絆の輪」

7月1日・2日の2日間にわたり「ふれあい広場2017inしべつPart34」が開催され、多くのボランティア、市民の皆さんのご支援ご協力により盛会裡に終了しました。

「ふれあい広場」は、障がいの有無や年齢にとらわれず、市民交流の場とし「広場」での「ふれあい」を通し「ノーマライゼーション」の考え方を普及定着していくことを目的として毎年開催され、本年度で34回目を迎えました。

1日午後1時から特設ステージにおいて開会式が行われ、斉木士別市社会福祉協議会会長の開会の挨拶に続き、牧野市長をはじめ来賓の皆様から祝辞をいただきました。引き続き、ステージ背景画の採用者とふれあい標語入賞者の表彰式、幼稚園児や小学生による器楽



演奏などが行われ、翌2日にはステージで士別市吹奏楽団、士別中学校や南中学校吹奏楽部などによる軽快な演奏や子ども限定の大ピンゴ大会などが繰り広げられました。

また、体育館内ではアダプティッドスポーツ体験として風船バレー、ボッチャや体力測定、ボランティア展、展示教室などの数々の催しが行われました。

一時小雨が降るあいにくの天候でしたが、大勢の市民の皆さんが来場し「ふれあいコンサート」や「ふれあいの店」などを楽しみながら障がい者の皆さんとの交流を深めていた

きました。

(※ノーマライゼーション 障がいの有無に関係なく平等に生活できる社会をめざす考え方)

(※アダプティッドスポーツ 障がいがあっても無くてもみんなで楽しめるスポーツ)

※ お 知 ら せ

士別市社会福祉協議会朝日支所の開所時間が、4月から変更になりました。

月曜日から金曜日までの、午前8時30分~12時までと、午後1時~3時45分までになりました。

なお、土・日・祝日及び年末年始は休みです。